

平成22年度 決算報告書

国立大学法人広島大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	27,052	27,052	0	
施設整備費補助金	394	260	△ 134	(注 1)
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	1,371	1,443	72	(注 2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	90	155	65	(注 3)
自己収入	31,672	32,956	1,284	
授業料、入学料及び検定料収入	9,061	8,971	△ 90	(注 4)
附属病院収入	22,133	23,509	1,376	(注 5)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	478	476	△ 2	(注 6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,150	5,111	△ 39	(注 7)
引当金取崩	208	253	45	(注 8)
長期借入金	2,273	2,245	△ 28	(注 9)
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	150	150	(注10)
計	68,210	69,625	1,415	
支出				
業務費	57,132	55,049	△ 2,083	(注11)
教育研究経費	36,358	33,240	△ 3,118	
診療経費	20,774	21,809	1,035	
施設整備費	2,757	2,615	△ 142	(注12)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	1,371	1,484	113	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,150	4,597	△ 553	(注14)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	1,800	1,793	△ 7	(注15)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	68,210	65,538	△ 2,672	
収入-支出	0	4,087	4,087	

○予算と決算の差異について

(注 1)施設整備費補助金は、一般競争入札の結果による減及び新型大強度円偏光発生装置の事業が翌年度へ繰越となったことにより、予算額に比して決算額が134百万円少額となっています。

(注 2)補助金は、応募申請に努めたことによる増及び補正予算の措置による増により、予算額に比して決算額が72百万円多額となっています。

(注 3)国立大学財務・経営センター施設費交付金は、交付額の増により、予算額に比して決算額が65百万円多額となっています。

(注 4)授業料、入学料及び検定料収入については、学士、修士及び博士課程に係る授業料が減少したことにより、予算額に比して決算額が90百万円少額となっています。

(注 5)附属病院収入については、診療報酬改定の影響、診療単価の増等により、予算額に比して決算額が1,376百万円多額となっています。

(注 6)雑収入については、主として余裕金の運用に係る利息収入の減により、予算額に比して決算額が2百万円少額となっています。

(注 7)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金受入額の減により、予算額に比して決算額が39百万円少額となっています。

(注 8)引当金取崩については、予算段階の見込より多く取り崩しを行ったため、予算額に比して決算額が45百万円多額となっています。

(注9)長期借入金については、一般競争入札の結果により借入必要額が減少したため、予算額に比して決算額が28百万円少額となっています。

(注10)目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった取り崩しを行ったため、予算額に比して決算額が150百万円多額となっています。

(注11)業務費については、入院棟NICU増床工事・管理棟設置工事・レジデントハウス新営工事等による診療費用増の一方で、退職給付が予定より少なかったことなどの影響により、予算額に比して決算額が2,083百万円少額となっています。

(注12)(注1)、(注3)及び(注9)に示した理由により、予算額に比して決算額が142百万円少額となっています。

(注13)(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が113百万円多額となっています。

(注14)(注7)に示した理由及び複数年にまたがる研究の受入増により、予算額に比して決算額が553百万円少額となっています。

(注15)長期借入金償還金については、予算段階では把握できなかった借入利率の確定により、予算額に比して決算額が7百万円少額となっています。